



# 筑波大学

*University of Tsukuba*

令和元年度 筑波大学概要

**IMAGINE  
THE  
FUTURE.**

筑波大学は未来を構想し、その実現に挑むフロンランナーです。

筑波大学は開かれた大学、学際融合・国際化への挑戦を建学の理念とする、未来構想大学と自らを位置づけます。文系・理系から体育、芸術に及ぶ学問を探究し、グローバル・リーダーの育成を目指す、真の意味での総合大学＝Universityです。最先端研究拠点 TSUKUBAの中核として、人類が共存共栄する世界の実現に向かって行動します。

## 「開かれた大学」

### 目次

4 大学の沿革／校章

### 研究

6 未来に羽ばたく次世代研究者

7 世界を変える最先端研究

### 教育

8 学際融合・領域横断的な教育システム

10 学群・学類

14 大学院研究科

16 グローバル教育院

18 寄附講座・寄附研究部門

20 特色ある学生支援

ベンチャー支援と産学連携の推進

21 共同教育研究施設等

### 国際交流

22 留学生の受入／学生の海外留学

23 海外オフィス

24 附属学校

26 附属図書館

附属病院

27 本学の特色

28 建物配置図

30 アクセス



# T 大学の沿革 / 校章

筑波大学は、1973(昭和48)年に文系・理系から体育、芸術に及ぶ学問を探究する総合大学として筑波研究学園都市に開学しました。開学から40余年の新しい大学ですが、そのルーツは、1872(明治5)年に日本で最初に設立された高等教育機関である師範学校までさかのぼります。日本の近代化の礎となる教育を支えた師範学校からの伝統に甘んじることなく、筑波大学は、この筑波の地で新しい「改革」と「挑戦」に挑み続けています。

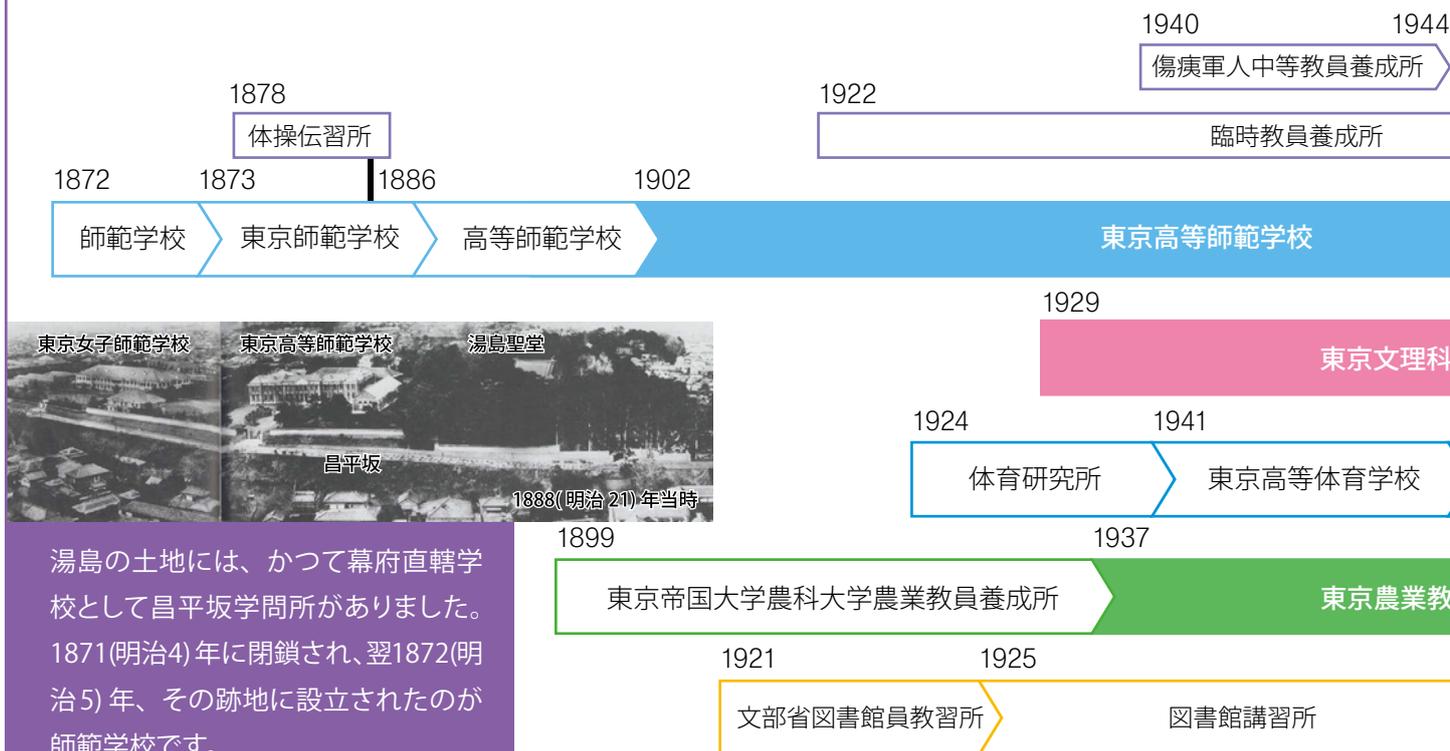
## 校章



## 筑波大学 University of Tsukuba

本学の校章「五三の桐葉型」は、1903(明治36)年に改定された東京高等師範学校生徒徽章に始まり、1949(昭和24)年製作の東京教育大学学生バッジにも受け継がれました。1974(昭和49)年、本学評議会において「校章については東京教育大学の伝統を引き継ぎ」桐の葉とすることが承認されました。「五三の桐」と呼ばれる図形には、我が国の伝統的な紋章一般がそうであるように多くのバリエーションがありますが、本学の校章は花の部分のみ「蔭」(アウトライン)で表される独特のものであります。

## 創基からの沿革図



## 筑波研究学園都市

筑波大学がある筑波研究学園都市は、我が国最大の最先端研究開発拠点です。国立の研究機関の約3割にあたる30以上の研究機関が集積し、約2万人の研究者が研究活動を行っています。筑波大学はその中核的な役割を担っており、イノベーションを生み出す新たな産学官連携拠点の創造を目指しています。

### 東京から筑波へ

前身校である東京教育大学は、文・理・教育の3学部がある大塚キャンパスと体育学部のある幡ヶ谷キャンパス、農学部のある駒場キャンパス、それに光学研究所のある大久保地区などの4校を包括して設置されました。当時のメインキャンパスとしての大塚地区はとても狭く、また体育・農学の両キャンパスとは離れている地理的な問題があったことで、大学の移転を考えていた折、政府の研究学園都市構想があり、「筑波」への移転が1973(昭和48)年に決定しました。

1945

特設中等教員養成所

1948 1949

大学

1944

東京体育専門学校

育専門学校

1945

1947

図書館職員養成所

1964

図書館短期大学

1979

図書館情報大学

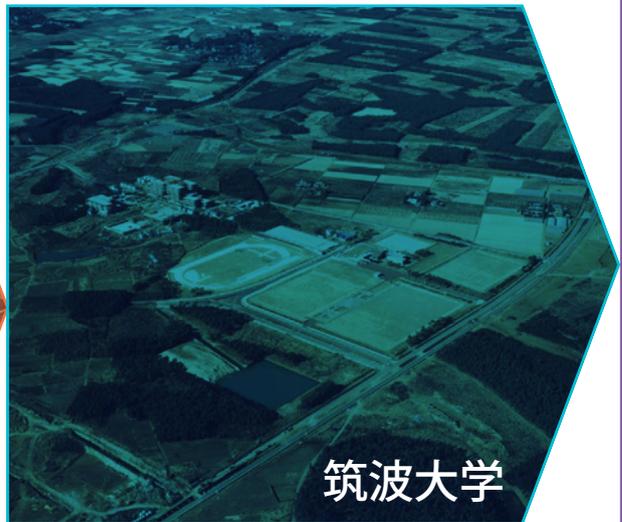
2002

1973

写真は開学当時のもの



東京教育大学



筑波大学

# 研究

筑波大学は、広範な学問分野にわたって高度で先進的な研究力を有し、それに裏打ちされた学士課程から博士課程までの質の高い教育を通じて優れた人材を育成する研究型総合大学です。各分野における専門性を追求すると同時に、学際的な連携・協力を積極的に推進し、世界的に卓越した教育研究を展開することを通じて社会に貢献することを目指しています。

## 未来に羽ばたく次世代研究者

### 小児患者を抱える家族のエンパワメント

小児保健看護学



小児患者をもつ家族を中心に据えた研究プロジェクトを推進しています

わきみず りえ  
**涌水 理恵** 医学医療系・准教授

家族が何らかの課題に向き合い、自分たちの生活調整や改善を図る力を有すること（他の家族やサービスシステム、社会などの外部と協働する状態や能力も含まれます）が「家族エンパワメント」です。健康問題を有する子どもを養育する家族のエンパワメントに関する実証データに基づくケアを実現するために、患者家族の「セルフケア機能」や「エンパワメント」の過程を把握することで、家族にとって適切なサポート態勢の充実を図ると同時に、研究知見を蓄積して成果を発信できる人材の育成を目指しています。

### リアルに美しく情報を伝えるデザインの研究開発

メディア創造分野



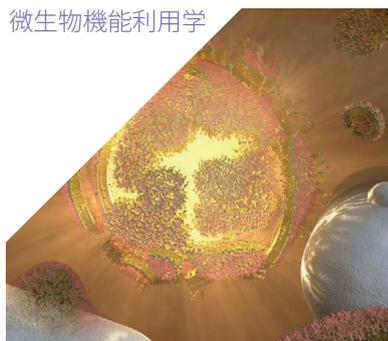
ダイナミックでインタラクティブな情報表現の研究と制作を実践しています

きむ さんて  
**金 尚泰** 図書館情報メディア系・准教授

私たちが五感を通して感じる情報のうちでいちばん比率の高い視覚情報をより効果的に活用するために、IT 技術や工学にデザイン性を活かすというコンセプトから、リアルで美しい三次元CG 画像の研究と制作を進めています。その活用領域は、CG アニメやゲームの制作のみならず、リアルな医学書や図鑑の制作、芸術鑑賞などへと大きく広がっています。

### 細菌間の相互作用・コミュニケーション

微生物機能利用学



集団を形成した細菌が示す驚異的なパワーの解明を目指しています

とよふく まさのり  
**豊福 雅典** 生命環境系・准教授

細菌は、同一の遺伝情報をもつクローンでもそれぞれ個性を有しています。一方、集団を形成した細菌は、感染症や環境浄化において大きなパワーを発揮します。“個”が集まって“集団”を形成・維持する際の相互作用、細菌間コミュニケーションが注目されています。そうした仕組みを解明することで細菌制御技術への応用を目指しています。

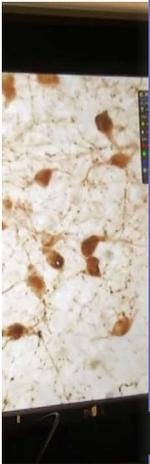


「医療用 HAL®」に代表される革新的サイバニックシステムを研究開発する世界トップのイノベーション創出拠点  
 新学術領域【サイバニクス】による未来開拓への挑戦！

サイバニクス研究センター研究統括

さんかい よしゆき  
**山海 嘉之**

システム情報系・教授



睡眠覚醒機構の解明を目指し、基礎から臨床までを網羅する世界唯一の研究拠点  
 現代神経科学最大のミステリー、睡眠の謎を解き明かす

国際統合睡眠医科学研究機構 (IIS)

やなぎさわ まさし  
**柳沢 正史**

機構長 / 教授

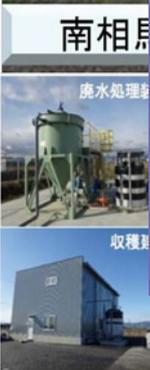


30 億年前に地球に出現し、地球環境を創成してきた藻類を活用して持続可能な社会の実現に向けた研究を実施する国内最大規模の藻類バイオマス研究拠点  
 SDGs 達成に貢献する藻類のもつ多様な機能の解明と実用化

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター

わたなべ まこと  
**渡邊 信**

生命環境系・特命教授  
 センター長



サイバニクス研究センターは、『人』と『サイバー・フィジカル空間』を一体的に扱う【サイバニクス：人・ロボット・情報系の融合複合】の研究開発を推進し、これを駆使して少子化・高齢化等による人や社会の課題解決に向けた革新技術の研究開発、医療・福祉・生活分野など様々な分野における新産業創出、未来開拓型人材の育成を同時展開し、好循環のイノベーションを実現する世界トップの「イノベーション創出拠点」として、様々な革新技術の創出と社会実装に挑戦しています。世界初のロボット治療機器「医療用 HAL®」は、2013 年に欧州で医療機器として認証され、日本においても 2015 年に「新医療機器」の承認という快挙を達成。さらに、2017 年に米国 FDA から治療効果のある医療機器として承認を受けました。「サイバニクス革命：人とテクノロジーが共生する未来社会」(Society5.0/5.1)の実現、「サイバニクス産業」の創出に向け、研究開発に挑戦しています。

柳沢正史機構長らは、睡眠覚醒制御において重要な役割を果たす新規神経ペプチド「オレキシン」を発見し、神経ペプチドにより睡眠覚醒が制御されていることを世界に先駆けて示し、睡眠学・代謝学の新たな研究領域を切り拓いてきました。しかし、睡眠覚醒調節の根本的な原理や、そもそも「眠気」の神経科学的な実態は一体何なのか、未だに明らかになっていません。これら神経科学最大の謎に挑むべく、国際統合睡眠医科学研究機構では世界をリードする研究者が一丸となって最先端の研究を行っており、目覚ましい成果を挙げています。

藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センターは、持続可能な開発目標 (SDGs) 達成への貢献を基本理念とし、CO2 削減効果が高く、多様な機能性成分を産生する藻類の応用研究とグローバルな産業育成を目指した実証研究を推進しています。

本センターは設立して 4 年目で、藻類を活用して、パームオイル産業が排出する温室効果ガスを削減し当該産業を環境と経済の好循環をもたらす持続可能な産業へパラダイムシフトさせる技術の開発に成功しました。これにより、インドネシア政府の強いバックアップをうけてパームオイル生産企業と共同する事業体が構築されるという快挙を達成しました。今後、この動きはマレーシア、ベトナム、インド、南米へとひろがっていきます。

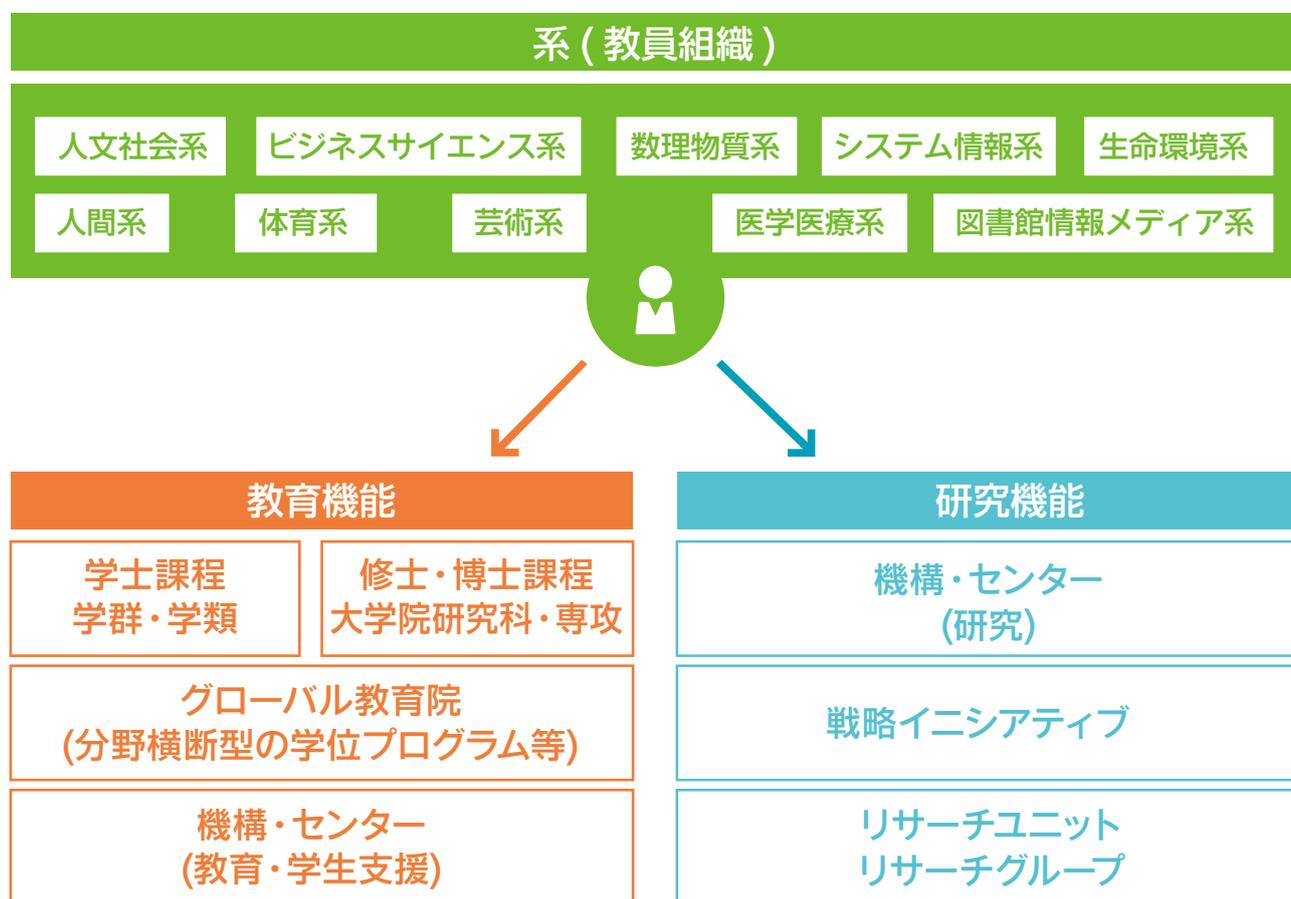
また、藻類燃料については本センターが主導する藻類産業創成コンソーシアムに加盟する国内企業との共同研究が著しく進み、藻類原油生産コストの大幅な削減を達成。近未来での藻類燃料の実用化も期待されるほどの目覚ましい成果を挙げてきております。

# 教育

筑波大学は医学・体育・芸術も有する総合大学として、学群・学類等の壁を低くして、学生が専門分野以外にも幅広い教養を身に着けることを可能にしています。

## 学際融合・領域横断的な教育システム

筑波大学の教員は「系」に所属し、基盤的な研究を行いつつ、学群・学類、研究科・専攻、センター等それぞれの教育研究組織の目的に即した教育研究を担います。教員の所属組織を個々の教育研究組織から独立させることにより、各教育研究組織に異なる分野の教員が参画することが可能になり、学際融合・領域横断的な教育研究、新たな教育研究プログラムの創出を柔軟に行うことができます。



## 筑波大学独自の新たな教員組織「系」

多様化・高度化する教育研究のニーズに的確に対応していくためには、各教育研究組織が、固定的・閉鎖的になることなく、学問の進展や社会の要請に応じて、新たな教育研究プログラムの創出や組織の改組再編を柔軟に展開していかなければなりません。筑波大学では、教員の所属組織と個々の教育研究組織の編成の在り方を区別した新たな教育研究体制を構築することとし、独自の教員組織として「系」を設置しました。現在、広範な学問分野にわたる 10 の系を設置しています。



## 学位プログラム制への改革

### 国際的通用性・互換性のある教育システムの構築

学位の取得を目指す学生の視点に立って、その学位レベルや分野に応じて修得すべき知識・技能及び能力等を身に付けることができるように、教育プログラムを学生中心に体系的に整備する教育システムが学位プログラム制です。既存の組織の枠を超えた学術分野を横断する学位プログラムを束ね、運営するのが「グローバル教育院」です。

### 学位プログラムの先行例

2012

#### グローバル教育院に開設

ヒューマンバイオロジー学位プログラム

2014

#### グローバル教育院に開設

エンパワメント情報学プログラム

#### システム情報工学研究科に開設

社会工学学位プログラム

サービス工学学位プログラム

2015

#### グローバル教育院に開設

ライフイノベーション学位プログラム

#### 人間総合科学研究科に開設

スポーツ・オリンピック学学位プログラム

次世代健康スポーツ科学学位プログラム

2016

#### 人間総合科学研究科に開設

スポーツウエルネス学位プログラム

2017

#### 生命環境科学研究科に開設

山岳科学学位プログラム

#### 教育研究科に開設

教育学(国際教育)修士プログラム

#### グローバル教育院に開設

地球規模課題学位プログラム(学士)

2019

#### グローバル教育院に開設

ヒューマニクス学位プログラム

#### 理工学群に開設

総合理工学位プログラム(学士)

# 学群・学類

学群・学類は、他大学の学部・学科に相当する学士課程の教育を担います。学群は、専門領域を中心としていくつかの学問分野を総合した形で構成されています。また、専門的な能力を必要とする分野（体育・芸術）には、一貫教育を行う専門学群が置かれています。学類は、学群に置かれ、学生の教育に責任を持つ組織です。学生は学類に所属します。

## 人文・文化学群

人文学類 哲学 史学 考古学・民俗学 言語学

比較文化学類 比較文化

日本語・日本文化学類 日本語・日本文化学



人文・文化学群は、基礎的な分野の教育を担う人文学類、学際的視点を重視した教育を行う比較文化学類、国際社会の中で日本語及び日本文化の発信を目指す日本語・日本文化学類の3つの学類から構成されます。優れたコミュニケーション能力と人に対する豊かな洞察力をもち、グローバル化する世界の中で活躍できる人材を育成します。

○ 学群 URL <http://www.humcul.tsukuba.ac.jp>

## 社会・国際学群

社会学類 社会学 法学 政治学 経済学

国際社会科学

国際総合学類 国際関係学 国際開発学

国際社会科学



社会・国際学群は、社会学・法学・政治学・経済学などの社会科学分野の総合的な専門教育を担う社会学類と、社会科学を中心に、文系・工学系の学際・融合教育を担う国際総合学類から構成されます。現代社会や世界で生起する諸問題を的確に把握する理解力と独創的な分析力を備え、社会の要請に対応でき、国際舞台で活躍できる人材を育成します。

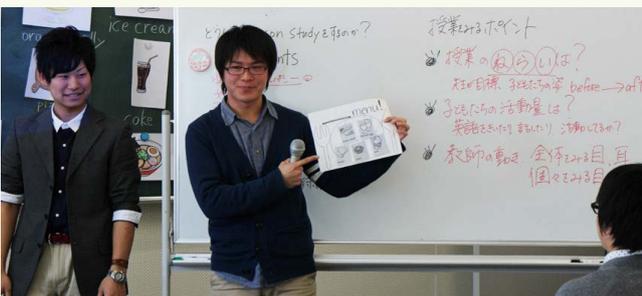
○ 学群 URL <http://www.soc-int.tsukuba.ac.jp>

## 人間学群

教育学類 教育学

心理学類 心理学

障害科学類 障害科学



人間学群は、教育学類、心理学類、障害科学類の3学類から構成されます。学類間の垣根をできるだけ低くし、3学類の基幹授業（教育学・心理学・障害科学）を全ての学群生が履修できるようにしています。その後、学類の専門分野を積極的に学習します。人間についての深い理解と発達支援を行うことのできる人材を育成します。

○ 学群 URL

<http://www.human.tsukuba.ac.jp/gakugun>

## 生命環境学群

生物学類 生物学 生命環境学際

生物資源学類 生物資源科学 生命環境学際

地球学類 地球環境学 地球進化学 生命環境学際



生命環境学群は、生物現象の本質及び生物学の研究手法と先端研究の意義を理解する生物学類、食料の確保、環境と調和した生物資源の開発と保全を追及する生物資源学類、地球の大気圏・水圏・岩石圏で生じる諸現象、及びそれらと人間活動や生物との関わり合いを、地球を一つのシステムと捉えて探求する地球学類の3つの学類から構成されます。問題発見・解決型能力を身につけ豊かな人間性を育くむことで、国際的視野に立って活躍できる未来創造型の人材を育成します。

○学群 URL <http://colleges.life.tsukuba.ac.jp>

## 理工学群

数学類 数学

応用理工学類 応用物理 電子・量子工学 物性工学 物質・分子工学

物理学類 物理学

工学システム学類 知的工学システム 機能工学システム 環境開発工学 エネルギー工学

化学類 化学

社会工学類 社会経済システム 経営工学 都市計画



理工学群は、理学と工学の6学類で構成され、基礎から応用までの幅広い分野を学びます。持続可能な社会に必要な幅広い教養、論理的かつ柔軟な思考力、実践的技能、基礎から応用に至る専門性を習得できます。また、知的創造、問題発見・解決の能力を有する広い視野と豊かな人間性をもつ人材を育成します。

○学群 URL <http://sse.tsukuba.ac.jp>

## 情報学群

情報科学類 ソフトウェアサイエンス

情報システム 知能情報メディア

情報メディア創成学類 情報メディア創成

知識情報・図書館学類 知識科学

知識情報システム 情報資源経営



情報学群では、情報に関する基礎から最先端までのすべてを扱います。情報学群は3学類から構成され、情報科学類では情報に関する知識とその工学応用についての体系的な学問、情報メディア創成学類ではコンテンツとネットワークに関する情報技術とコンテンツの流通・利用を支える技術、知識情報・図書館学類では知識や情報の流通・蓄積の成り立ちやそのシステムの在り方を学びます。社会の問題を解決し、人類の知的営みを発展させることができる人材を育成をします。

○学群 URL <http://inf.tsukuba.ac.jp>

## 医学群

医学類 医学 新医学

看護学類 看護学 ヘルスケア

医療科学類 医療科学 国際医療科学



医学群は、医学類・看護学類・医療科学類の3つの学類から構成されます。いずれの学類でも医療職を目指し、医師、看護師、臨床検査技師などの国家資格を取得すべく勉学に励みます。医学類では6年間、看護学類、医療科学類では4年間、一般教育から専門分野まで幅広い学問分野にわたって、一貫教育を行います。医療や医学研究にあつては考え方が日々変化し、知識量も急激に増大しています。「自分で問題を考え、解決する」力と方法を習得して、医療現場で適切に諸問題を解決する能力を養うことを目標としています。

○ 学群 URL

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun>

## 体育専門学群



優れた運動技能と幅広い運動経験を基盤に、体育・スポーツ及び健康に関する総合的な知識と最新の科学的知見を活かしながら、諸所の問題解決を図れる知・徳・体を具備した体育・スポーツ界のリーダーを育成します。1、2年次には運動実技と体育・スポーツ・健康に関する基礎的な理論を学び、3年次からは、体育・スポーツ学、コーチング学、健康体力学等、より深く体育・スポーツ・健康に関して学びます。

○ 学群 URL

<http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/gakugun>

## 芸術専門学群



幅広い教養と深い専門能力を裏づけとして、既成概念を払拭し、知性と感性の統合を目指します。低学年では様々な科目を横断的に履修して芸術の基礎を学び、高学年からより高度で専門的な科目を履修して卒業研究へと結びつけます。14の専門領域から構成され、少人数教育により、個性を伸ばす実践的な指導がされます。学際的・国際的な視野と確かな学力を持ち、かつ柔軟な発想力と豊かな表現力を備え、創造的活力に満ちた美術およびデザインの専門家を育成します。

○ 学群 URL

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school>



# 大学院研究科

大学院には修士課程、博士課程及び専門職学位課程があります。また、社会人再教育のための夜間大学院・昼夜開講制の実施、短期在学コース・長期履修学生制度・博士後期課程「早期修了プログラム」等標準修業年限の弾力化、筑波研究学園都市等の研究機関の施設・設備や人的資源を活用して大学院教育を行う連携大学院方式の実施等の教育方法・形態の多様化を図っています。令和2年度からは現在の組織を改組再編し、学位プログラム制へ全面移行する予定です。

## 教育研究科

修士
スクールリーダーシップ開発 教科教育

## 人文社会科学研究科

修士	
国際地域研究	
一貫制博士(5年制)	
哲学・思想 歴史・人類学 文芸・言語	
博士前期	博士後期
現代語・現代文化 国際公共政策 国際日本研究	

## ビジネス科学研究科 (東京キャンパス)

博士前期	博士後期
経営システム科学 企業法学	企業科学
専門職学位	
法曹(3年制) 国際経営プロフェッショナル(2年制)	

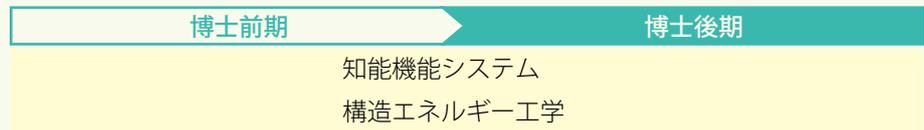
## 数理工学物質科学研究科

博士前期	博士後期
数学 物理学 化学	
	博士後期
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー
博士前期	博士後期
電子・物理工学 物性・分子工学	
	3年制博士
	物質・材料工学

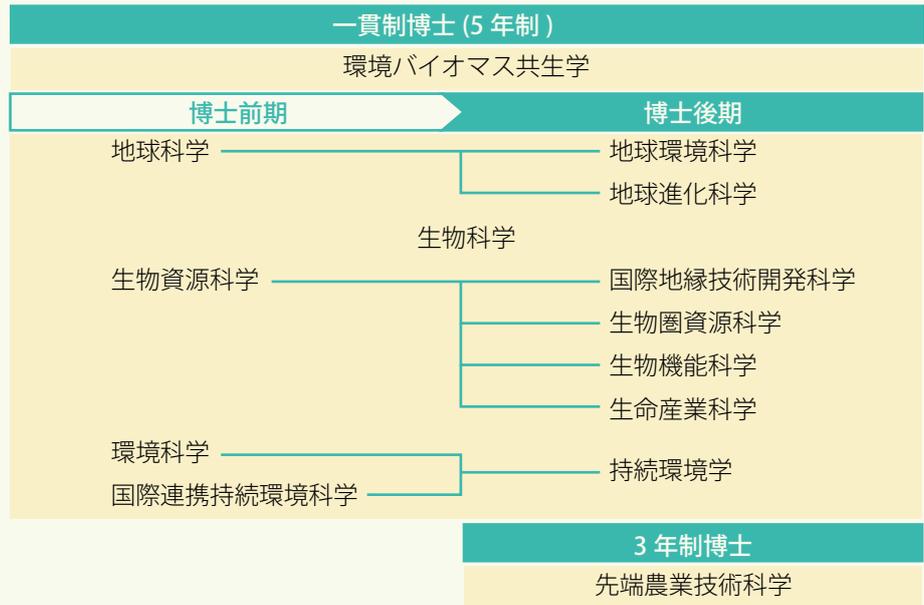
## システム情報工学研究科

博士前期	博士後期
社会工学 リスク工学 コンピュータサイエンス	

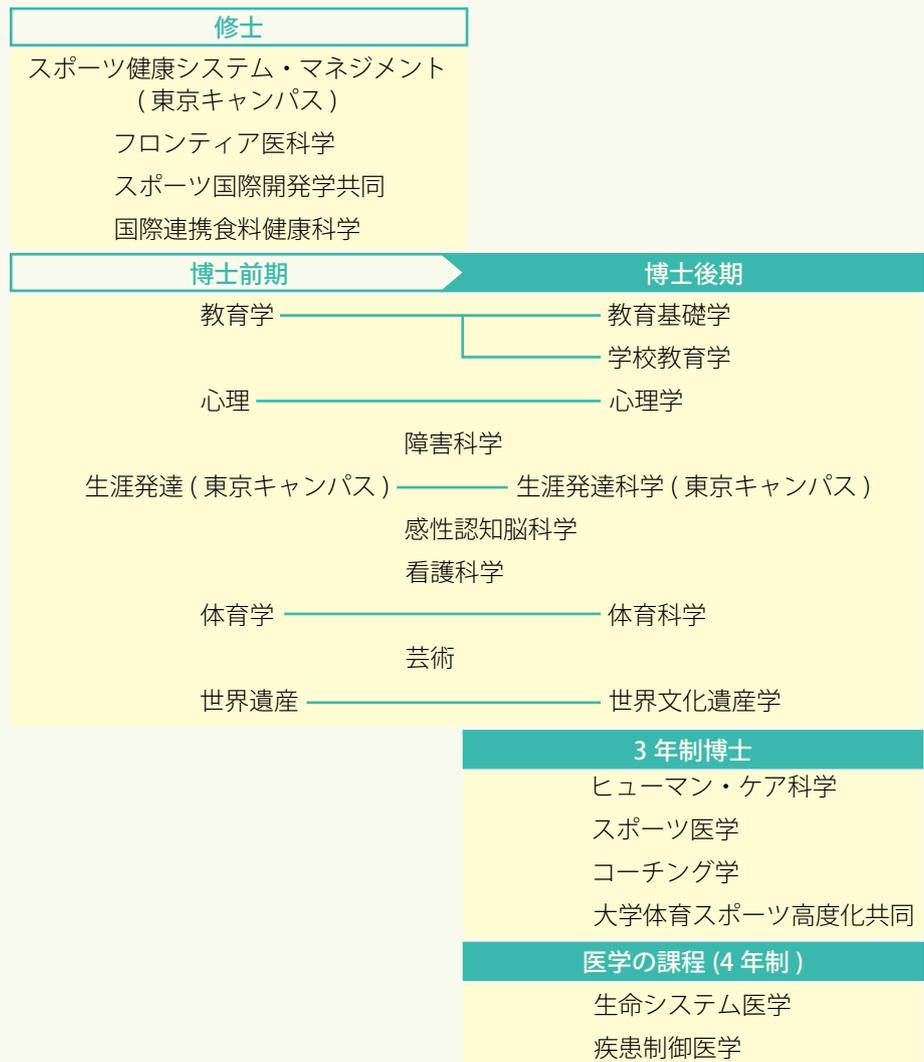
システム情報工学研究科



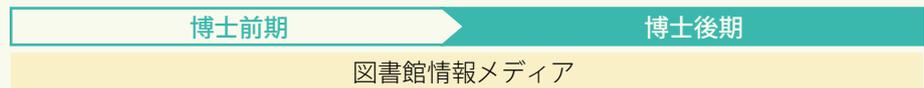
生命環境科学研究科



人間総合科学研究科



図書館情報メディア研究科



# グローバル教育院

大学または大学院課程で分野を横断する学位プログラム等の実施・運営を行うことを目的として、平成23年12月に「筑波大学グローバル教育院 (School of Integrative and Global Majors:SIGMA)」を設置しました。グローバル教育院では、「博士課程教育リーディングプログラム」及び「卓越大学院プログラム」に採択された学位プログラムや、本学が独自に開設する学術分野横断的な学位プログラムの運営を行っています。これらの学位プログラム等を束ね、教育担当部局と同様に教育ができるように組織し、全学的な運営を行うためにグローバル教育院長は教育担当副学長が担当しています。

## 学位プログラム ( 学士課程 )

### 地球規模課題学位プログラム ( 学士 )



学士課程横断型、文理融合型の4年間の英語プログラムです。地球規模課題全般を俯瞰する幅広い基礎知識を身に付け、環境と人間に関する課題を解決するために分野を超えて必要な情報・技術を自ら意欲的に求めていく姿勢をもち、多くの選択肢の中から最適解を意思決定できる人材を養成します。

○ プログラム URL <http://bpgi.tsukuba.ac.jp/jp>

## 学位プログラム ( 大学院課程 )

### ヒューマンバイオロジー学位プログラム ( 一貫制博士課程 )



さまざまな学問領域の垣根を越え、ヒトを宇宙や地球の一つの生命体として捉え、地球環境と生物進化の時間軸でヒトのからだの仕組みとホメオスタシスを理解する「ヒト」に関する生物学です。①ヒトの生物学に関する概念を理解し、②DNA解析を中心とした従来のセントラルドグマでは扱えない生命素子 (epigenetic biomolecules) の科学とその制御技術の専門力を修得し、③さらに、これらの知見を社会の現場における課題を解決するために活用するための目利き力、突破力、完結力を涵養します。

○ プログラム URL <http://hbp.tsukuba.ac.jp>

## エンパワメント情報学プログラム (一貫制博士課程)



博士課程教育リーディングプログラムとして、平成25年度に文部科学省により新規に採択されました。本プログラムでは、「人の機能を補完し、人とともに協調し、人の機能を拡張する情報学」として、新たに「エンパワメント情報学」を創設し、これからの人類社会にとって、安全性、利便性、心の豊かさの向上といった様々な観点から、人の生活の質を向上させる工学システムを創出できる人材の育成を目指しています。

○ プログラム URL <http://www.emp.tsukuba.ac.jp>

## ライフイノベーション学位プログラム (区分制博士課程)



筑波研究学園都市や海外での素晴らしい学びの機会を提供し、4つの専門領域「病態機構、創薬開発、食料革新、環境制御」における世界有数の専門家と学生間の相互作用を促進します。つくばライフサイエンス推進協議会に属する16機関の研究者に加え、オックスフォード幹細胞研究所、ワーゲニンゲン大学、モンペリエ大学、ボルドー大学などの海外のトップクラスの大学からの教授陣が参画し、社会での即戦力となる教育研究を実施します。

○ プログラム URL <http://tlsi.tsukuba.ac.jp>

## ヒューマニクス学位プログラム (一貫制博士課程)



卓越した実績を有する異分野研究拠点が横断的に連携し、新しい次元の融合研究分野である「ヒューマニクス」を創生します。生命医科学分野と理・工・情報学分野の教員が、実際に共同研究を行うなかで研究指導する完全ダブルメンター制を取り、バイディシプリン専門力を有する博士人材を育成します。本プログラム入学希望者へ入学前からプレアドミッションプログラムを提供して学際的素養を涵養し、大学院へのシームレス一貫教育システムを構築します。

○ プログラム URL <https://www.phd-humanics.tsukuba.ac.jp/>

# 寄附講座・寄附研究部門

産学連携を推進するとともに、大学における教育研究の豊富化、活発化を図ることを目的とし、企業等からの寄附を有効に活用して、筑波大学に「寄附講座」もしくは「寄附研究部門」を設置し、運営する制度です。

この制度により、2019(令和元年)年5月1日現在、寄附講座29件(社会連携講座1件、既に終了した講座11件を含む。)、寄附研究部門10件を設置しています(既に終了した講座1件を含む。)

## 寄附講座 (令和元年5月1日現在)

- 人 JA 茨城県厚生連寄附講座臨床研究地域イノベーション学講座
- 人 茨城県寄附講座地域医療教育学
- 人 【社会連携講座】 地域医療・先端医工連携講座
- 人 循環器不整脈学寄附講座
- 人 土浦市地域医療教育学講座
- 数 トヨタ自動車・デンソーパワーエレクトロニクス寄附講座
- 数 富士電機パワーエレクトロニクス寄附講座
- 人 総合周産期医学講座
- 人生 自然保護寄附講座
- 人 JA 茨城県厚生連寄附講座脳卒中予防・治療学
- 人 JA 茨城県厚生連寄附講座先進消化器外科学
- 人 JA 茨城県厚生連寄附講座運動器再生医療学
- 人 循環器病態医学講座
- 生 糸状菌相互応答講座
- 人 アダプテッド体育・スポーツ学寄附講座
- 人 寄附講座 地域総合診療医学
- 人 寄附講座 成人難病地域医療学
- 人 鹿島行方地域寄附講座 運動器医療学

## 寄附研究部門 (令和元年5月1日現在)

- 病 重症心不全・不整脈総合治療寄附研究部門
- 病 茨城県災害・地域精神医学寄附研究部門
- 病 応用分子イメージング学寄附研究部門
- 病 神栖地域医療システム学寄附研究部門
- 病 茨城県西部地域医療システム学寄附研究部門
- 病 古河・板東地域医療システム学研究部門
- 医 茨城県・日立市女性のヘルスケア地域医療学寄附研究部門
- 病 茨城県総合地域医療システム学研究部門
- 病 県南地域医療システム学研究部門

設置組織

人 人間総合科学研究科

生 生命環境科学研究科

数 数理物質科学研究科

病 附属病院

凡例

眠 国際統合睡眠医科学研究機構 (IIMS)

医 医学医療系

## 寄附者

- 茨城県厚生農業協同組合連合会
- 茨城県
- (株)日立製作所
- 日本メドトロニック(株)、ディーブイエックス(株)
- 茨城県土浦市
- トヨタ自動車(株)・(株)デンソー
- 富士電機(株)
- つくば市
- 岡本和子氏(個人)
- 茨城県厚生農業協同組合連合会
- 茨城県厚生農業協同組合連合会
- 茨城県厚生農業協同組合連合会
- バイオメット・ジャパン合同会社
- ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)
- 日本ライフライン(株)、日本光電工業(株)
- バイオトロンニックジャパン(株)、東レ(株)
- センチュリーメディカル(株)
- 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)
- 公益財団法人発酵研究所
- 茨城県
- 北茨城市民病院、笠間市、利根町、大子町
- 社会医療法人若竹会 つくばセントラル病院
- 医療法人 大森病院
- 茨城県
- 茨城県厚生農業協同組合連合会
- 一般社団法人 MAP
- 茨城県行方市

アボットメディカルジャパン(株)

茨城県

医療法人社団 豊智会

神栖市

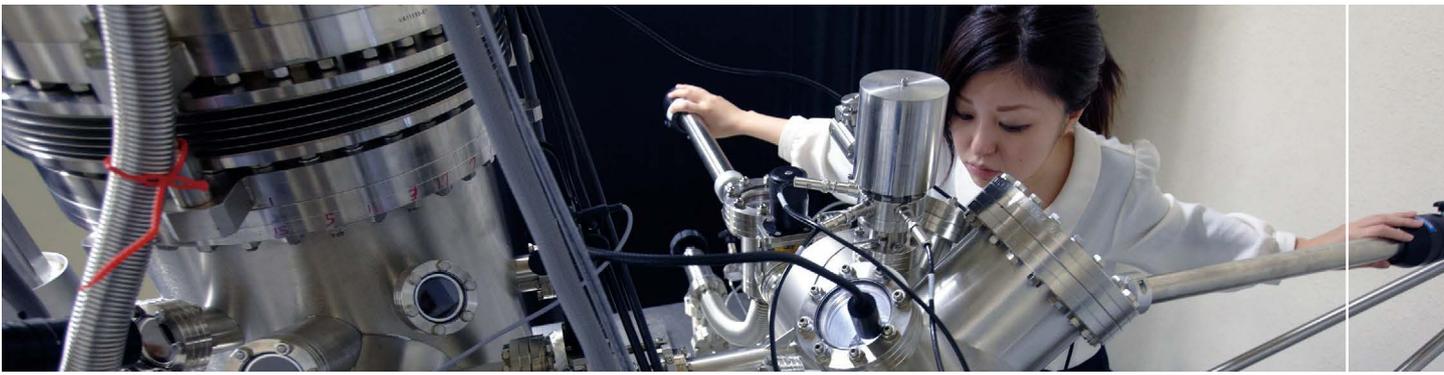
筑西市

茨城県厚生農業協同組合連合会

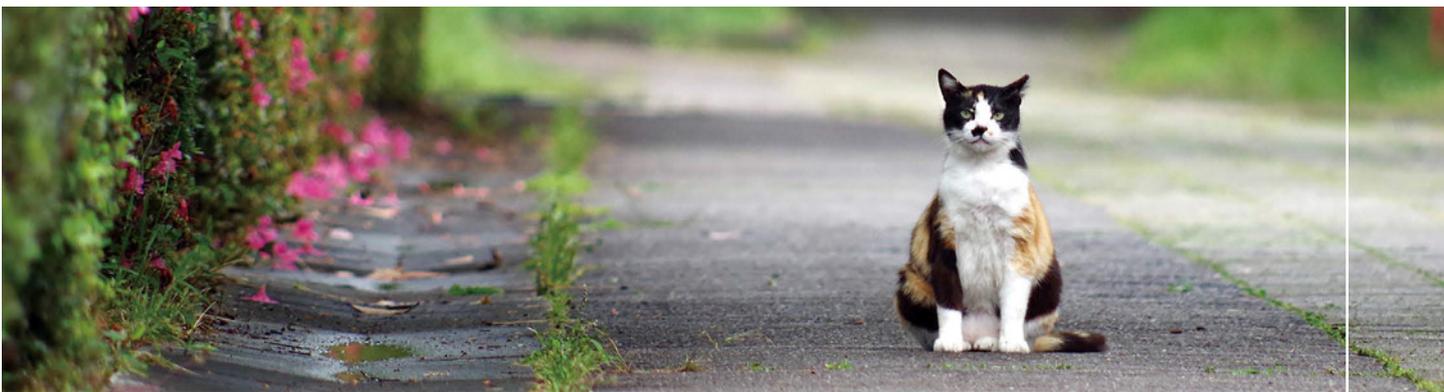
茨城県・日立市

茨城県

公益社団法人 取手市医師会



寄附講座・寄附研究部門



## 特色ある学生支援



### T-ACT つくばアクションプロジェクト

学生の「やってみたい！」を応援するプロジェクトが T-ACT です。学生が思いついた企画を実現したり、ほかの人が立てた企画に参加したりして、筑波大学を学生の活動創出の場にしてほしい、そんな願いがあります。「T-ACT フォーラム」が設置され、専任教員がいつでも相談に乗っています。



### 障害学生支援・LGBT 等の学生支援

筑波大学では、開学以来多くの障害のある学生が学んでおり、積極的に支援しています。現在、視覚障害、聴覚障害、運動障害、内部障害、発達障害等の障害のある 100 名以上の学生が、学群・学類と大学院のさまざまな分野に在籍しています。対応ガイドラインを定め、LGBT 等の学生への支援も行っています。



### Global Village

2017(平成 29)年 4 月に、Global Village(グローバルヴィレッジ)がオープンしました。この学生宿舎は、これまで本学には無かった日本人学生と留学生の混住シェアハウスタイプです。いろいろな国の学生と一緒に生活し、交流を深めながら国際感覚を磨くことができます。

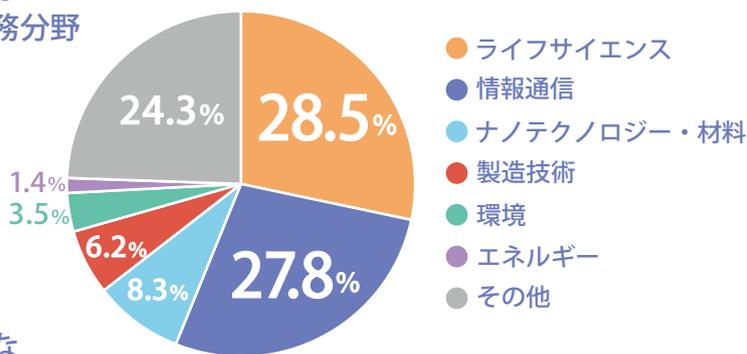
## ベンチャー支援と 産学提携の推進



令和元年 5 月 1 日現在  
ベンチャー設立累計

144 社

### 主な 業務分野



### 主な 関係者



「筑波クリエイティブ・キャンプ」での現役の企業経営者と参加者のディスカッション風景

研究成果を広く社会に還元していくことは、社会に貢献するという大学の重要なミッションの一つです。筑波大学は、大学発ベンチャーの育成及び共同研究の促進により、研究成果の産業界への技術移転を促し、社会経済に変革をもたらすイノベーションの創出に寄与しています。

国際産学連携本部を中心とした起業・技術移転支援により、筑波大学のベンチャー設立累計は、我が国の大学でトップクラスの実績を有しています。

「筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック」(入門編)及び「筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスド」(発展編)では、授業の一環として現役の企業経営者や起業経験者による実践的な起業家教育を行っています。

## 先端研究センター群

世界から優秀な人材を引き付ける国際的な研究拠点となることを目標に、当該研究分野における研究を遂行します。

### 計算科学研究センター

宇宙から生命環境まで、科学諸分野と計算機科学の研究者が協働し、学際的研究を推進すると同時に、そのような研究に最適な計算機の開発・製作を行っています。



### 下田臨海実験センター

多様な海洋生物が生息する豊かな生物環境を利用して海洋生物学とその関連分野の研究を推進しています。充実した教育研究陣を擁する国内有数の施設です。



### プラズマ研究センター

### 地中海・北アフリカ研究センター

### サイバニクス研究センター

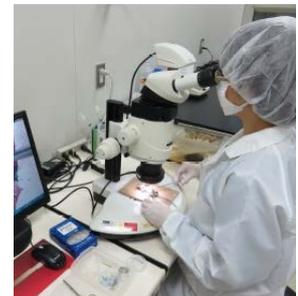
### アイソトープ環境動態研究センター

### 人工知能科学センター

### 陽子線医学利用研究センター

### 生存ダイナミクス研究センター

環境の変化に順応する生物の「生存戦略」の仕組みを分子レベルで解明するとともに、健康の質の向上や創薬ターゲットの基礎的開発に貢献する研究を推進しています。



### つくば機能植物イノベーション研究センター

植物遺伝子の構造・機能やバイオテクノロジーに関する先端的な研究、及び生物資源やフィールドを活かした農業研究を推進しています。



### 山岳科学センター

### 微生物サステナビリティ研究センター

### ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター

### トランスボーダー医学研究センター

### 宇宙史研究センター

### エネルギー物質科学研究センター

### 大学研究センター

## 研究支援センター群

研究の基盤整備を行い、日々の研究が遅延なく十分に行われるよう研究支援を行います。

### 研究基盤総合センター

### 学術情報メディアセンター

## 教育等センター群

主に学生、職員に対する教育等及び特定の業務を行います。

### グローバルコミュニケーション教育センター

### 体育センター

### アドミッションセンター

### 保健管理センター

## 国際統合睡眠医科学研究機構

## 国際科学イノベーション研究組織

### 高細精医療イノベーション研究コア

## 開発研究センター

### 藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター

### プレジジョン・メディスン開発研究センター

### 未来社会工学開発研究センター

### スポーツイノベーション開発研究センター

### ヘルスサービス開発研究センター

### テラーメイド QOL プログラム開発研究センター

### 働く人への心理支援開発研究センター

## 共同利用・共同研究組織

### つくば臨床医学研究開発機構

## アスレチックデパートメント

## その他

### 理療科教員養成施設



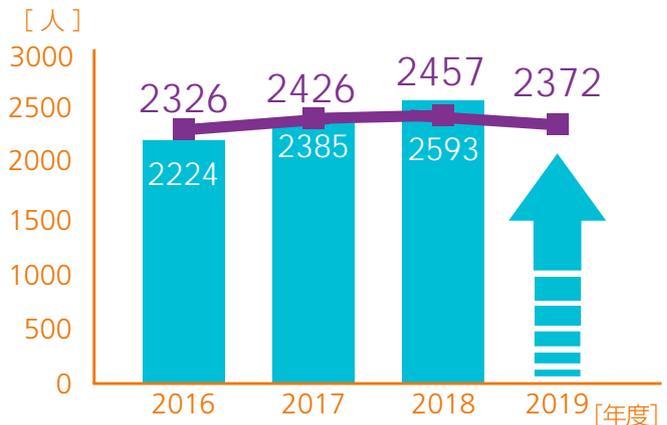
# 国際交流

筑波大学は、国際的な学術交流によって、学術研究水準の向上を図り、国際的視野を持つ人材の養成を目指しています。

その目的のために、外国の大学との交流協定による学生や教員の海外派遣、単位互換制度、外国人教員や研究者の受け入れなどを行っています。また、外国人留学生の受け入れも積極的に進めています。

## 留学生の受入

筑波大学は、110 を超える国・地域から留学生を受け入れています。英語のみで学位が取得できる約 40 のプログラムを提供する一方、レベルに合わせたきめ細やかな日本語教育が受けられることも特徴です。



## 学生の海外留学

交流協定校は 386 校にもおよび、国別ではアメリカ、中国、ドイツの順に多くの学生を派遣しています。派遣学生の比率は学群生が約 4 割、大学院生が約 6 割です。

■ 留学生受入数 (各年5月1日現在)  
■ 海外留学派遣学生数 (当該年度中。前年度からの継続者含む)



## 国際交流協定校

# 386

# 71

ヶ国・地域

## CiC パートナー

- 9 協定 大学間交流
- 148 協定 部局間交流
- 229 協定

令和元年 5 月 1 日現在



## 留学支援の奨学金制度

### 筑波大学海外留学支援事業 はばたけ！筑大生

交換留学、CiC、武者修行、海外学会及び海外研修プログラムに参加する学生の海外派遣を支援する本学独自の制度です。

支援額 50,000~200,000 円 (プログラム・派遣内容により異なる)

### 筑波大学基金 「開学 40+101 周年記念募金」 海外留学支援事業

筑波大学が学生交流に関する協定を締結している大学に、短期間 (28 日 ~ 1 年以内) 留学する学生に奨学金を支給する本学独自の制度です。

### 海外留学支援制度 (協定派遣)

筑波大学が学生交流に関する協定を締結している大学に、本学の教育組織等が実施するプログラムにより、1年以内の期間派遣させる学生に、独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) が奨学金を支給する制度です。

奨学金 60,000~100,000 円 (月額・金額は留学先地域により異なる)



## 海外オフィス

筑波大学では、数多くの国際交流事業を展開しています。その一つとして、教育研究活動の国際連携を推進するために、海外オフィスが設置されています。現在、12か国・地域に12か所のオフィスがあり、各オフィスのミッションに基づき、優秀な留学生の確保、派遣学生の支援、関係大学・機関等との学術交流活動の促進・支援、同窓会ネットワーク構築等、さまざまな活動を展開しています。



## トランスボーダー大学への取り組み

### スーパーグローバル大学創成支援プログラム

筑波大学は、平成26年度文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」タイプA(トップ型)に採択されました。本学の構想で核となる Campus-in-Campus(CiC) 及び科目ジュークボックスシステムなどの取り組みを通して、「開かれた大学」から「我が国の高等教育と社会を世界に開き、率先して世界の未来を拓く大学」への飛躍を成し遂げることを目指します。

### Campus-in-Campus(CiC)

筑波大学と世界中のパートナー大学とでキャンパス機能を相互に共有し、学生や教職員・研究者が自由に教育研究交流できる環境を実現する構想が Campus-in-Campus (CiC) です。この CiC 及びそれを基盤とした海外大学との授業の共有(科目ジュークボックスシステム)、卓越した業績を誇る教育研究ユニットの共有などの取り組みを通して、学生・教職員のモビリティを高め、国境や機関の壁を越えた武者修行を促進するとともに、世界中の資源を積極的に活用した教育研究を実現します。

#### CiC パートナー大学

ボルドー大学【フランス】

国立台湾大学【台湾】

サンパウロ大学【ブラジル】

マレーシア工科大学【マレーシア】

グルノーブル大学連合【フランス】

オハイオ州立大学【アメリカ】

ボーフム大学【ドイツ】

カリフォルニア大学アーバイン校(リサーチパートナー)【アメリカ】

ユトレヒト大学(リサーチパートナー)【オランダ】

# 附属学校

附属学校には社会の要請に基づく国際的視野をもった人材の育成を目指し、基礎学力の修得や、生涯学習体系の基礎モデルとなる先導的教育を推進するため、①先導的教育拠点②教師教育拠点③国際教育拠点という3つの拠点構想を掲げ、大学と連携して日本及び世界の初等中等教育及び特別支援教育をリードしています。



## 特別支援学校

筑波大学は、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・自閉症の5つの附属特別支援学校があります。特別支援教育の実践及び研究の推進のため、日々の教育活動を行っています。

### 7 附属視覚特別支援学校

我が国唯一の国立大学法人の視覚特別支援学校であり、視覚障害教育の実践を通して筑波大学の教育研究に協力・寄与しながら、「視覚障害教育のナショナルセンター」を目指しています。自主性と個性を尊重して、思考力・判断力ならびに積極的な行動力を養い、積極的に社会に参加、貢献できる人間を育むことを教育目標に掲げ、日々の教育活動を行っています。

○ 学校 URL <http://www.nsfb.tsukuba.ac.jp>



### 8 附属聴覚特別支援学校

我が国唯一の国立大学法人の聾学校として、現在、全校幼児児童生徒数約250名の全国一の大規模校で、学校は日々活気に満ちています。筑波大学の教育的な研究に協力する附属学校の一つとして、聴覚障害児教育の可能性の追究、実践的研究の推進と発信、教育実習及び現職教育の実施を使命としています。

○ 学校 URL <http://www.deaf-s.tsukuba.ac.jp>



### 9 附属大塚特別支援学校

子ども自身の願いや思いを大切に、自立と社会・文化への参加を目指し、発達及び可能性のより豊かな発現を図ることを教育方針に掲げ、知的障害児一人ひとりに応じた教育を行っています。併せて筑波大学の附属機関として、知的障害児の理論及び実践に関する研究を行い、教育実習の実施に協力する役割を持っています。

○ 学校 URL <http://www.otsuka-s.tsukuba.ac.jp>



### 10 附属桐が丘特別支援学校

大学附属として国内唯一の肢体不自由児を対象とする特別支援学校であり、肢体不自由の児童生徒、及び特別支援教育に対する有効な教育方法を検討・実践しています。また、筑波大学の附属学校として肢体不自由教育の理論及び実践に関する研究を行い、教育実習の実施に当たる使命を持っています。

○ 学校 URL <http://www.kiri-s.tsukuba.ac.jp>



### 11 附属久里浜特別支援学校

知的障害を伴う自閉症の子どもたちに対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行い、併せてその障害を補うために必要な知識技能を授けるため、平成16年に筑波大学の附属学校として設置されました。個々の子供の多様な実態に応じて、適切な指導を行い、それぞれの持っている可能性を最大限に伸ばすことを本校における教育の基本としています。

○ 学校 URL <http://www.kurihama.tsukuba.ac.jp>



## 附属図書館



### 基礎データ（平成30年度）

蔵書数	2,698,129冊
入館者数	1,030,485人
貸出冊数	296,000冊

附属図書館は、中央図書館と4つの専門図書館で構成され、筑波大学の学術情報基盤を支えています。館内ではレファレンスサービスや講習会に加え、ラーニング・アドバイザー（大学院生）による学習サポートやセミナー、ボランティアによる案内も提供されています。館内資料を活用した授業やグループ学習、芸術作品や研究成果の発表に活用できる空間も用意されています。また、貴重資料の特別展・企画展も開催しており、年間100万人に及ぶ学内外からの利用者に活用されています。

○ 施設 URL <https://www.tulips.tsukuba.ac.jp>

## 附属病院



### 基礎データ（平成30年度）

診療科数	39科	診療状況(1日平均)
ベッド数	800床	外来患者数 1,774人
		入院患者数 710人

附属病院は県内唯一の特定機能病院として、高度医療に特化した診療を行っています。また、医育機関としての機能も有しており、平成30年度初期研修医マッチング調査では72名と国立大学病院のうち、東京大学、東京医科歯科大学、京都大学に次いで4番目に人気の高い研修先としてランクインしています。平成30年度より県内の三次救急医療機関で対応困難な患者さんを受け入れる「高次救急センター」を整備しました。また、令和2年4月からは「県内初」の「高度救命救急センター」として稼働することになっています。

○ 施設 URL <http://www.hosp.tsukuba.ac.jp>

# 本学の特徴

本学は、ノーベル賞受賞者と金メダリストをとともに輩出する稀にみる大学です。これまでの歴史を振り返ると、ノーベル賞は3名が受賞し、オリンピック・パラリンピックでは、現役生と卒業生・修了生を合わせ100名余りが選手として出場し、多くのメダルを獲得しています。

## ノーベル賞

ノーベル物理学賞 1965



朝永振一郎

東京教育大学元学長、名誉教授

「量子電気力学、とくに超多時間理論およびくりこみ理論の展開」

ノーベル物理学賞 1973



江崎玲於奈

本学元学長、名誉教授

「半導体内及び超伝導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」

ノーベル化学賞 2000



白川英樹

本学名誉教授

「導電性ポリマーの発見と開発」

## 本学の伝統とオリンピック・パラリンピック

講道館柔道の創設者として高名な嘉納治五郎(1860-1938)は、本学のルーツとなる東京高等師範学校の校長を23年にわたって務めました。また、初のアジア出身の国際オリンピック委員会委員となり、わが国のオリンピック・ムーブメントの発展に尽くすと共に、日本が正式に選手団を派遣した1912年ストックホルム大会で2名の選手を率い、団長として参加しました。同大会には、当時東京高等師範学校の学生だった金栗四三がマラソンに出場しています。

### オリンピックにおける筑波大学総獲得メダル数※



永瀬貴規選手(柔道)  
写真：代表撮影/日刊スポーツ/アフロ  
(リオデジャネイロオリンピック)

### パラリンピックにおける筑波大学総獲得メダル数※



木村敬一選手(競泳)とコーチの寺西真人教諭(附属視覚特別支援学校)  
写真：日刊スポーツ/アフロ  
(リオデジャネイロパラリンピック)

※1973(昭和48)年以降に筑波大学の学生(卒業生・修了生を含む)、教職員が獲得した数

## 調和のとれた施設

筑波キャンパスは、南北に約5キロ、東西に約1キロに及ぶ約258ヘクタールの敷地を有しています。全体として斬新なデザインの施設が効率的に配置され、ペDESTリアンデッキと環状道路等で機能的に結ばれています。

また、東京キヤンパス文京校舎には、附属学校教育局と社会人対象の大学院等を設置しています。

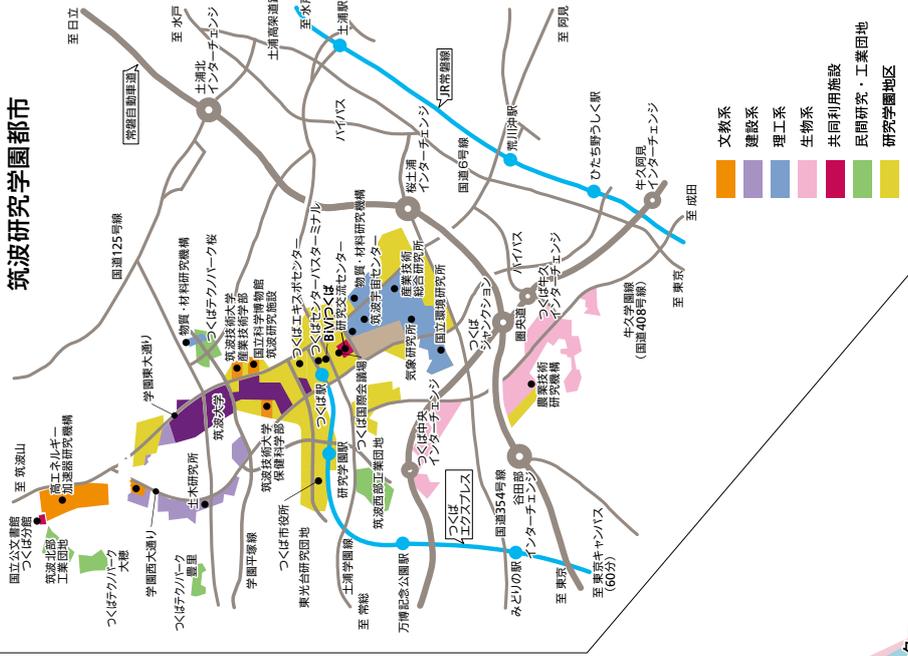
## 筑波キャンパス

エリア名	施設名称
東エリア	1 総合・第2総合
農林技術（農場）	2 つくば機能植物イノベーション研究センター（農場）
一の矢宿舎	3 一の矢学生宿舎
エリア	4 一の矢生活センター
実験センター	5 アイソトープ環境動態研究センター（環境動態予測部門）
エリア	6 生存タイミクス研究センター
エリア	7 産学リエゾン共同研究センター
エリア	8 ハイオ・マテリアル植物生産研究センター
エリア	9 プラスマ研究センター
エリア	10 葉類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター
エリア	11 エンバースタジオ
エリア	12 研究基盤総合センター（工作部門）
エリア	13 研究基盤総合センター（低温部門）
エリア	14 研究基盤総合センター（応用加速器部門）
エリア	15 共同研究棟C
エリア	16 研究基盤総合センター（分析部門）
エリア	17 プロジェクト研究棟
エリア	18 アイソトープ環境動態研究センター（放射線研究部門）
エリア	19 アークアイブズ、中央機械室
第三エリア	20 第3体育館
第三エリア	21 3A～3D、3K、3L棟/システム情報エリア支援室
第三エリア	22 工学系系棟
第三エリア	23 理科系棟
第三エリア	24 共同研究棟D
第三エリア	25 総合研究棟B
第三エリア	26 サイバニクス研究棟
第二エリア	27 つくば機能植物イノベーション研究センター（遺伝子実験センター）
第二エリア	28 生物・農林学系棟
第二エリア	29 第1体育館
第二エリア	30 総合研究棟A
第二エリア	31 2A～2H棟/生命環境エリア支援室、人間エリア支援室
第二エリア	32 文科系修士棟
第二エリア	33 人間系学系棟
第二エリア	34 環境防災研究棟
第一エリア	35 人文社会学系棟
第一エリア	36 中央図書館
第一エリア	37 共同研究棟A
第一エリア	38 共同利用棟D
第一エリア	39 スチューデントプラザ

## その他の施設

埼玉県	戸田艇庫・合宿所
千葉県	龍山研修所
山梨県	山中共同研修所
長野県	八ヶ岳演習林
静岡県	菅平高原実験所
静岡県	井川演習林
静岡県	下田臨海実験センター

## 筑波研究学園都市



エリア名	施設名称
医学エリア	77 医学地区中央機械室
医学エリア	78 睡眠医学研究棟
医学エリア	79 4B棟、4C棟、4D棟
医学エリア	80 生命科学動物資源センター
医学エリア	81 4E棟
医学エリア	82 共同利用棟B
医学エリア	83 医学系R研究棟
医学エリア	84 医学系系棟
医学エリア	85 附属病院
医学エリア	86 4A棟/医学医療エリア支援室
医学エリア	87 医学棟
医学エリア	88 医学図書館、臨床講義室

- 40 1A~1H棟、人文社会エリア支援室、数理物質エリア支援室
- 41 文化系サークル館
- 42 自然科学系棟
- 43 計算科学研究センター

エリア名	施設名称
本部棟	44 本部棟、本部アネックス棟
大学会館	45 講堂
大学会館	46 大学会館、筑波大学キャララー、UTshopきりのほ
大学会館	47 総合交流会館
大学会館	48 大学会館宿泊施設
大学会館	49 学術情報メディアセンター
大学会館	50 グローバルコミュニケーション教育センター
大学会館	51 保健管理センター
大学会館	52 国際講義棟

体育・芸術	施設名称
体育・芸術	53 芸術学系棟
体育・芸術	54 5C棟/体育芸術エリア支援室
体育・芸術	55 共同研究棟B
体育・芸術	56 体育科学系棟
体育・芸術	57 体育総合実験棟
体育・芸術	58 6A、6B棟
体育・芸術	59 芸術学系工房棟
体育・芸術	60 体育、芸術図書館
体育・芸術	61 中央体育館
体育・芸術	62 T-Dome
体育・芸術	63 スポーツ流体工学実験棟
体育・芸術	64 体芸食堂
体育・芸術	65 グローバルスポーツインベーション棟
体育・芸術	66 体育センター、体育系サークル館
体育・芸術	67 屋内プール
体育・芸術	68 武道館
体育・芸術	69 球技体育館
体育・芸術	70 開学記念館
体育・芸術	71 総合研究棟D
体育・芸術	72 SAKURA TERRASSE
体育・芸術	73 弓道場・アーチェリー場
体育・芸術	74 体育合宿所
体育・芸術	75 クラブハウス
体育・芸術	76 課外活動練習施設



- 89 医学食堂
- 90 第2体育館
- 91 陽子線医学利用研究センター
- 92 健康医科学イノベーション棟
- 93 つくば臨床検査教育・研究センター
- 94 次世代分子イメージングつくば画像検査センター
- 95 平砂生活センター
- 96 平砂学生宿舎
- 97 グローバルヴィレッジ
- 98 レジデント宿泊施設
- 99 追越生活センター、ゆりのき保育所
- 100 追越学生宿舎
- 101 天久保宿泊施設
- 102 外国人教師等宿泊施設
- 103 7A棟
- 104 春日学生宿舎 春日1号棟、春日2号棟
- 105 高細精医療イノベーション棟
- 106 春日講堂
- 107 7B棟、7C棟/図書館情報エリア支援室
- 108 図書館情報学図書館
- 109 7D棟
- 110 第4体育館
- 111 春日弓道場
- 112 情報メディアアユニオン
- 113 春日学生宿舎 春日3号棟
- 114 春日福利厚生棟

## 東京キャンパス

文京校舎	施設名称
115	大塚図書館 社会人大学院等支援室 大学研究センター 附属学校教育局 東京キャンパス事務部 理療科教員養成施設 広報室東京分室

附属学校	施設名称
東京都	附属小学校、附属中学校、附属高等学校、附属駒場中・高等学校、附属視覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校
埼玉県	附属坂戸高等学校
千葉県	附属鹿野特別支援学校
神奈川県	附属久里浜特別支援学校

- 建物
- バスストップ/アンテナ
- 歩道
- 運動施設
- 農場
- 路線バス停留所
- 案内センター
- 駐車場
- ヘリポート
- 病院ヘリポート
- コンビニエンス・ストア

# アクセス

## つくばエクスプレス (TX) ご利用の場合

秋葉原駅から  
 つくば駅まで快速 45 分  
 つくばセンターからバスで  
 「筑波大学中央」行  
 「筑波大学循環(右回り)(左回り)」  
 約 10~15 分

## JR 常磐線ご利用の場合

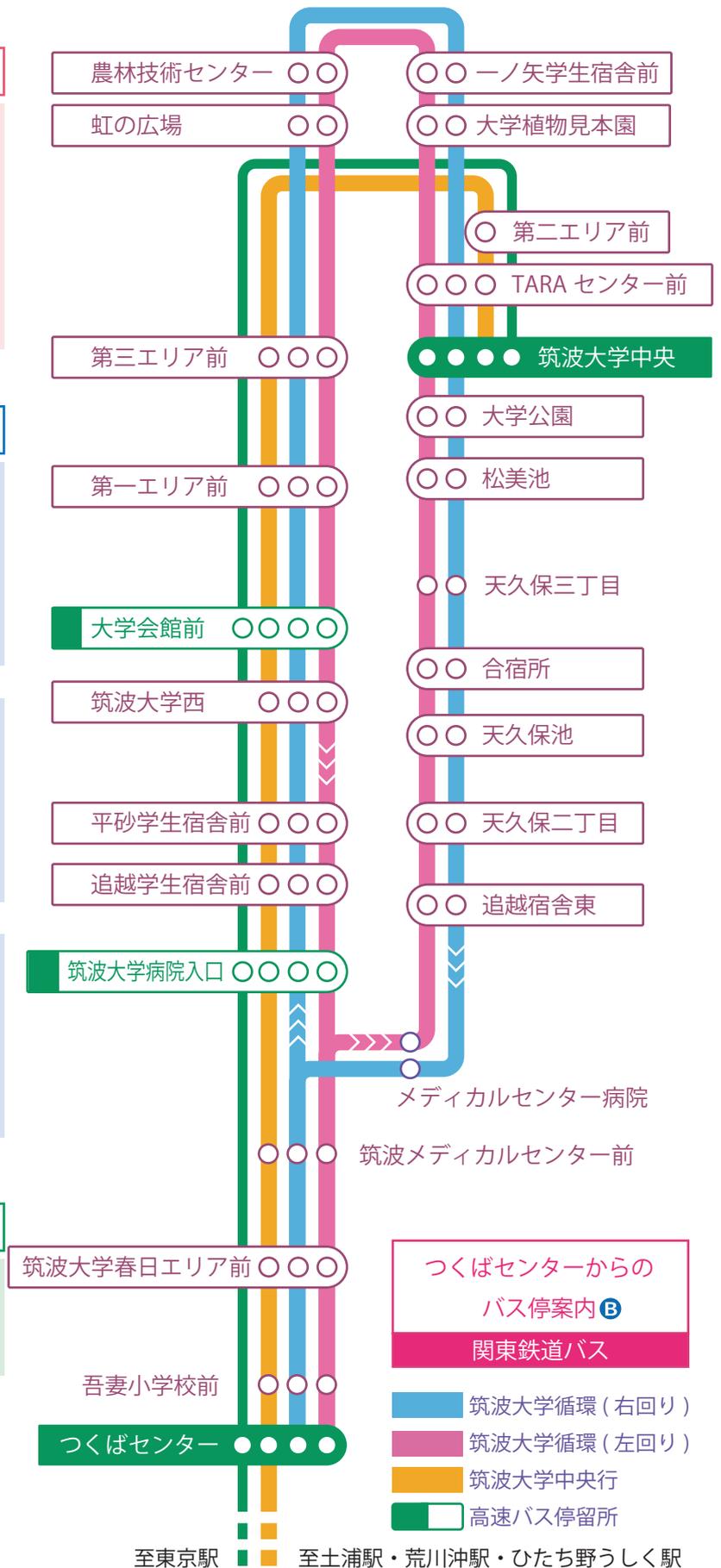
ひたち野うしく駅  
 バスターミナル東口から  
 「筑波大学中央」行バス  
 約 45 分  
 タクシーで約 25 分

荒川沖駅  
 バスターミナル西口から  
 「筑波大学中央」行バス  
 約 40 分  
 タクシーで約 25 分

土浦駅  
 バスターミナル西口から  
 「筑波大学中央」行バス  
 約 40 分  
 タクシーで約 25 分

## 高速バスご利用の場合

東京駅八重洲南口  
 「筑波大学」行バス  
 約 75 分



アクセス (関東)



アクセス

# IMAGINE THE FUTURE.

想像しよう、未来を。  
地球の、環境の、  
社会の、未来を。  
想像できなければ、  
創造はできない。  
私たちの未来は、  
失敗できない。  
創造しよう、未来を。  
共に生き、持続できる、  
開かれた未来を。  
その扉をあける、  
挑戦者になろう。



筑波大学  
*University of Tsukuba*

筑波大学概要 令和元年度

編集・発行：筑波大学広報室

住所：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

[www.tsukuba.ac.jp](http://www.tsukuba.ac.jp)

制作：広報室

基本デザイン：福井周一（博士前期課程芸術専攻2015年次生）

デザイン監修・表紙：木村浩